

都城市民会館 再生活用をめざすシンポジウム

市民会館を未来へつなぐ

都城市民会館は平成19年に閉館され、平成21年より20年間、南九州大学に無償貸与されましたが、諸般の事情でこれまで未利用な状況が続き、南九州大学が都城市に市民会館を返還することになりました。試算によると再生に40億円という膨大な費用が必要との説明がされましたが、一般社団法人日本建築学会が検討した結果、8億円程度で再生可能な方法を提案しています。その内容を古谷誠章日本建築学会長より解説するとともに、東京理科大学教授山名善之「世界遺産となった近現代建築」（仮題）について講演、意見交換を予定しています。シンポジウムの目的は、市民会館を責任持って活用していただける事業者を広く募ることにあります。活用をご検討いただける企業や団体、もしくはそれをご紹介いただける個人の方々のご参加を心よりお待ちしております。

（解説）古谷誠章（日本建築学会会長）

（講演）山名善之（東京理科大教授・国立西洋美術館の世界遺産登録に尽力）
「世界遺産となった近現代建築」（仮題）

是非ご参加下さい。（講演内容は一部変更の可能性があります）

12月16日（日）14:00 - 16:00

Mallmall 未来創造ステーション 会議室1

都城市中町16-15

主催 一般社団法人日本建築学会 都城市民会館再生活用計画検討特別委員会

当日先着順 40名（参加無料 公共交通機関でご来場下さい）

問い合わせ先：都城工業高等専門学校 林田研究室 0986-47-1239

鹿児島大学工学部建築学科 鯨坂研究室 099-285-8291